

「さくらひめ」周知へ 愛媛県立伊予農高生 17日アレンジ展示



「さくらひめ」のアレンジメント作品を試作する生徒
(愛媛県伊予市で)

【えひめ】出荷期を迎えた愛媛県育成のデルフィニウム「さくらひめ」をPRしようと、県中予地方局は17日、松山市の商業施設で、地元農業高校生によるアレンジメント作品を展示するイベントを開く。器や生け方

などが多種多様な作品を展示し、来場者に投票してもらう。若い世代の認知度アップを狙いで、同地方局産地戦略推進室は「高校生ならではの自由で斬新な作品を見て来てほしい」と話す。12～5月が出荷期の「さ

くらひめ」は今シーズン、県全域で50㍎を栽培。東温市など同地方局管内が大半を占める。同地方局は栽培技術の向上と併せて認知度向上を重視し、2024年度から商業施設でのイベントを行っている。

第2弾となる今回は、県立伊予農業高校の連携が実現。7日には同校で、園芸流通科草花班の13人がアレンジメントを試作した。切った竹やドーム型のオアシスなどを使い、「さくらひめ」から連想したイメージを表現。同科2年の小泉心選留さんは「同系色のバラやガーベラを組み合わせて、花の宝箱を表現したい」とほほ笑んだ。